

石高神社

石造物に注意

十月に香川県で相次いで神社の石造物が倒れて死傷するという事故がありました。当社においても他人事ではありません。たとえは玉垣はもとも石を組み合わせてあるだけです。一部分をコンクリートで補修していますが、全体的に老朽化しており、上に乗ったりすると大変危険です。灯籠も石を重ねてあるだけです。上に登って笠の部分にぶら下がるようなことをすると、上の石が落ちます。石鳥居も石を組み合わせて立てているだけです。力を加えると安全とはいえません。本来の用途でない使い方をした場合はすべて倒壊の可能性があります。子供さんがお参りされる場合は特に注意してください。

台風による被害

今年には輪くぐりを台風の最中に行うことになってしまったのを皮切りに例年になく多くの台風が来しました。特に二十三号は雨風が強く、大きな被害をもたらしました。皆様のお宅では被害が無かったことをお祈り致します。今までは、台風が来ても大小の木の枝や葉が落ちて、上が流出する程度でした。しかし、今回は隨身門の屋根瓦が落ちたのをはじめ、釣殿の屋根にも異常が認められました。また、境内南東部のヒノキとカイズカイブキの木が倒れてブロック塀

第二十二号

発行日 平成十六年十二月十日

発行者 石高神社 宮司 高原 章兆

発行所 岡山市円山八五三

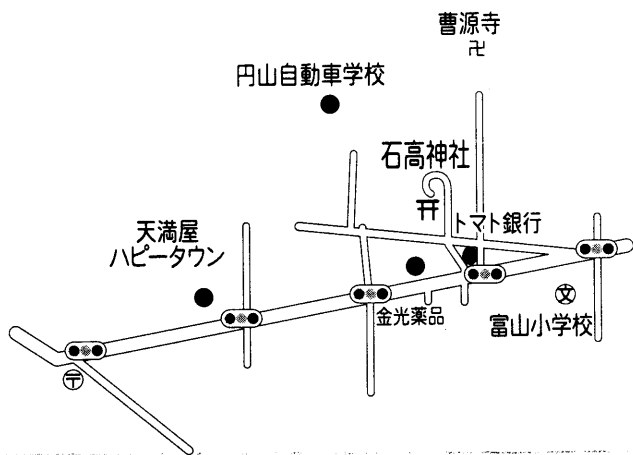
電話 二七七一九〇〇三

に亀裂が入ったり、西側のヒノキも根の部分が陥没して傾きました。隨身門の本格的修理には、膨大な費用がかかりますので、とりあえず屋根の応急修理で対応することにしました。

石高神社近辺

の地図

県道岡山―西大寺線北側の曹源寺と円山自動車学校の間の独立した宮山に鎮座しています。最寄りのバス停は「曹源寺」です。自動車でお参りの場合、宮山の東側を回って北から宮山の上まで上がる事ができます。なお、境内の東側の道は表まで行く事ができますが、回転できませんのでご注意ください。



ホームページ新アドレス

ホームページアドレスが変更になりました。新アドレスは次の通りです。
<http://www.31.ocn.ne.jp/~ishitaka>



石高神社の建物② 隨身門

神社の門で隨身の像が左右にあります。隨身とは、付き従う護衛や門番のことで、俗に矢大臣、左大臣といい、矢を背負って剣を帯びています。豊石窓神(とよいわまどのかみ)、櫛石窓神(くしいわまどのかみ)とも伝えられています。岡山市歴史的建造物平成六・七年度調査報告「岡山市の近世寺社建築」によりますと、当社の隨身門を次のように記述しています。すなわち、「しっかりとした標準的な隨身門。様式や風食からすれば、天保十年(一八三九年)建立の幣殿拜殿と同じ頃の造立であろう。」



石高神社の年間行事

正月は元旦〇時より歳旦祭、その後午前一時前まで新年の家内安全祈禱を行います。三が日に限らず学校が休みの日には宮司がおりますので新年の家内安全祈禱、厄祓いなどにお参りください。

平成十七年のどんと祭は一月十五日の土曜日です。

十五日、十四日が休祭日の場合はこの優先順位で、どちらも休祭日でない年はそれより後の一番近い休祭日に行うことにしています。

来年は十五日が土曜日ですので、十五日の午前十時から実施します。ダイオキシン発生抑制を考慮してプラスチックの飾りが付いている場合には、できるだけはすすようにお願いします。同時に古札やお守りの焼却を行います。お祓いした後プラスチック類ははすす作業をあらかじめ行いますので、古札・お守り類は七日頃までに拝殿に用意した箱に入れてください。

夏祭りの輪くぐりは七月三十一日の晩です。八時半ごろまでに「ひとがた」に住所・氏名などを書いてお参りください。夜店が出ます。

秋祭りは十月三日〜五日ですが、三日の晩が氏子の皆様がお参りする氏参りの日で、この日だけ夜店が出ます。祭りの日を土日にしてほしいという意見がよく出ますが、そうすると、夜店が来なくなるので、変えないことにしています。ご理解ください。

その他、七五三祭、宮参り、病人祈禱、自動車清祓、地鎮祭、家祈禱など随時行っています。宮司は平素学校へ勤めていますので、休日のご用命をお待ちしています。

ちよこつとボランテイアのお願い

最近「ちよボラ」という言葉を耳にします。当社では、拝殿の縁の下に掃除用具を置いています。お参りや散歩のついでにちよこつと清掃奉仕をお願いできたら幸いです。

